

資料 3

いじめ・不登校・虐待 等への対応

予想される内容

- ・ 保護者による連絡
- ・ 表情や行動の変化
- ・ 悩みアンケートから
- ・ 仲間はずれ
- ・ 学業不振
- ・ 不登校傾向
- ・ 児童虐待



いじめ・不登校等を防ぐための方策

- 相手を思いやる学級経営
 - ・ 友達のよさを認め、賞賛する関係づくり
 - ・ 「いじめは人間として絶対に許されない」雰囲気作り
 - ・ 学級活動、道徳の時間におけるいじめ問題や自己有用感
 - ・ 分かった、できた、達成感をもてる取組
- 児童理解
 - ・ 計画的な悩みアンケート、教育相談の実施（月 1 回）
 - ・ 児童の様子や変容などの観察・把握、情報交換
 - ・ 児童理解委員会の実施（毎月）
- 欠席 3 日以上の際は、家庭訪問を実施
- 人権教育、命の大切さの推進
- 家庭・地域と学校との連携・協力、相談体制の確立
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの相談
- いじめのサインを見逃さない

